

# マザータウン 安芸高田市 × サンフレッチェ広島 初のトップ対談

創立30周年を迎えたサンフレッチェ広島。  
「これまで」と「これから」について、  
石丸市長が仙田社長へ話を伺いました。



サンフレッチェ広島  
創立30周年

## 石丸市長

## 仙田社長 (サンフレッチェ広島)



### テーマ1

#### 安芸高田市の印象

石丸市長(以下、石):このまちにどのような印象をお持ちでしょうか?

仙田社長(以下、仙):どこに行ってもサンフレッチェののぼりがあるのが、本当にうれしいです。選手も、われわれフロントも、勇気を頂いています。

### テーマ2

#### 災害寄附—クラブからの支援—

石:昨年8月の豪雨災害に対して、多大なサポートを頂きました。

仙:エディオンスタジアムでの試合のときに「募金活動をやろう」と私がみんなに声を掛けました。「安芸高田市だけで良いのか」と社内で議論もありましたが、安芸高田市は私たちにとって特別な存在です。青山を筆頭に選手たちも名乗りを上げてくれて、うちの広報も頑張ってくれました。

### テーマ3

#### ユースチーム

石:地域と縁が深いサンフレッチェユースについて教えてください。

[地域とユースのつながり]

仙:現役の選手やOBからは、練習

でくたくたになってしんどいときに、市民の方から「頑張りんさいよ」と声を掛けてもらい非常に勇気付けられたという話を聞きます。親元を離れていますから、特にそう感じたようです。

[サッカーに専念できる環境]

仙:全国の有力クラブが勧誘に当たった有力な中学3年生がご家族と見学に来て、「ここだったら勉強もできるし、サッカーざんまいの生活を送ることができる、すばらしい」とサンフレッチェユースを選んでくれたことがあります。これは安芸高田市と私たちがタッグを組んでやってきたことが正しい道だったという証だと思います。

[ユース出身選手の活躍]

仙:今、トップチームにはユース出身の選手たちが10名いて、本当に頑張ってくれています。人数は柏レイソルの方が少し多いですが、出場時間数ではサンフレの方が圧倒的に多いです。

[待ち望まれる練習の公開]

仙:現在は非公開としている練習を、まもなく公開したいと思っています。

### テーマ4

#### 安芸高田市ができること

石:サンフレッチェを盛り上げるために安芸高田市ができることは何でしょう?

[神楽をスタジアムで]

仙:スタジアムをもっと楽しい場所にしたいと考えていて、安芸高田市のほら貝と武将の応援というのは、全国のクラブでも他にないことです。それからスタジアムで神楽を披露したいという思いもあります。広島の神楽はスペクタクル(壮観)で、一番のエンターテインメントなので、みんなに見て欲しいです。

### テーマ5

#### 新サッカースタジアム

石:新サッカースタジアムの完成に向けた思いを教えてください。

仙:なんといっても専用スタジアムですから、ピッチが観客と近く迫力満点、アクセスの良さは日本一になります。世界中の人たちが平和公園に来て被爆の実相と恒久平和の大切さを痛感した上で、新スタジアムを体験することになります。被爆からの復興にも勇気を与えたサッカーの歓声から、これが平和の喜びだと体験できる場所にもなるのです。

### テーマ6

#### サッカー公園の指定管理

石:サンフレッチェ広島がサッカー公園の指定管理を受託されました。

仙:今年度から指定管理を受託して、選手がクラブハウスをより機能的に使えるようになっています。コロナ対策も含めて、選手が自己管理を徹底できるのは大きな成果です。

今後、見学者を受け入れる環境を整え、練習の公開もしていきます。

### テーマ7

#### 女子プロサッカーチーム「レジーナ」

石:最後にレジーナへの思い入れをお聞かせください。

仙:男子と同じくオリジナル(WEリーグ初代チーム)であるためにレジーナを創設し、今シーズンは11クラブ中6位で終わりました。女子のサッカーは男子のサッカーよりスピーディーで、サンフレらしさが生きています。それと30年の歴史があるスポーツを通じた健康や教育という取り組みに、男女共同参画社会という新しい価値が加わりました。まさにSDGsの精神です。



### 対談を終えて

アディショナル・タイム(時間の追加)が発生するほど楽しい対談となりました(笑)。仙田社長のサッカーや広島に対する広い見識と深い愛情は、サンフレッチェ広島の熱源に違いありません。サンフレとともに安芸高田市はもっと盛り上がっていきそうです。